

松江赤十字病院 『患者さまの権利章典』

「医療は、患者さまと医療提供者とのお互いの信頼関係をもとに協力して作り上げていくものであり、患者さまに主体的に参加していただく必要があります。」
このような考え方にもとづき、松江赤十字病院は、患者さまの権利や責務についてつぎのとおり表明します。

1. 患者さまには、医療提供者との相互の協力関係のもと、良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 患者さまには、診療に関して十分な説明と情報の提供を受ける権利があります。
3. 患者さまには、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについて十分理解できるまで質問する権利があります。
4. 患者さまには、医療従事者が提案する治療法に対して自らの意思で決定できる権利があります。
5. 患者さまには、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
6. 患者さまには、医療提供者に対し患者さま自身の健康に関する情報をできるだけ正確に提供する責務があります。
7. 患者さまには、病院の規則を守る責務があります。

くつぎたいは

第25号(2008年 夏号) 松江赤十字病院

病院理念

松江赤十字病院は、地域の中核医療機関として、「高度」「良質」「公正」な医療を提供します。

乳腺外科開設

乳腺外科部長 村田陽子



乳腺外科の新設

乳腺は今日日本女性で最も多い癌で、年間四万人の患者さんが増え続けています。また、日本では四〇〜五〇代の若い年代に多く、社会的にも大きな問題です。一方乳腺の診療は、診断から治療に至るまで大きく進歩し、外科の一部門として対応することが難しくなりました。

このような状況の中、より専門性の高い診療を行うため、乳腺外科が新設されました。乳房に異常を感じた方や検診後の精密検査と診断、さらに乳癌の治療を中心にを行います。

乳腺の異常な症状は？

- ・乳房に硬いところがあるしこりがある
- ・皮膚のひきつれ赤く腫れている
- ・乳首のただれ汁が出る
- ・脇の下の硬いしこりなど



これらの症状に気づいたら、乳腺外科を受診してください。

「しこり」はぶつ痛くもかゆくもなく、さわってはじめて気づくものです。日頃のチェックが必要で、

乳房の痛みのために受診される方はたくさんおられますが、乳癌による痛みはめったにありません。多くは女性ホルモンに対する乳腺の反応によるものです。月経周期との関係などを確認してから受診して頂くとよいでしょう。

乳癌になりやすい人は？

- ① 四〇才以上
- ② 出産経験がない／高年齢初産
- ③ 初経十一才以前・閉経五五才以降
- ④ 乳癌になったことがある
- ⑤ 母・姉妹が乳癌になったことがある
- ⑥ 肥満・高栄養・動物性脂肪の多い食習慣

自分です。このなかで、⑥だけです。肥満を避けよい食事と適度な運動が、他の癌や生活習慣病予防にもなる大切なポイントです。

癌を防ぐ完全な予防法は今のところありませんが、乳癌は早期に治療できれば九〇%以上は治る病気です。早期発見が大切です。

乳癌検診と自己検診

欧米では日本の何倍も乳癌が多いのに、死亡率は減っています。日本では、罹患率・死亡率とも増え続けています。この

差は、検診受診率の圧倒的な差(欧米八〇%以上、日本一〇%以下)が関与していると考えられています。

マンモグラフィ検診では、触れることのできない初期の乳癌が多く見つかっています。もちろん、すべての病気を漏らさず発見することは不可能ですが、マンモグラフィ検診を受けることで、大切な命と乳房を守るチャンスは確実に増えます。

そして、毎月一回、自己検診をしましょう。習慣にすると、わずかな変化に気づくことができます。

乳癌で命を落とさないように

他人事ではなく、誰がなってもおかしくない病気です。でも、あまり怖がらないで。早く見つけられれば治せます！

乳腺外科では、そのために力を尽くしたいと思います。



診療科部紹介

検査部

現在の検査部のスタッフは二名の医師と三八名の臨床検査技師、組織は三課構成で第一課は生化学検査、輸血・血清検査、一般検査、第二課は血液検査、細菌検査、第三課は生理検査を担当しています。医師は必要な臨床検査の情報をいつでも迅速に臨床の現場に提供することができるよう、時間外（休日・夜間）は技師二人の当直体制で対応し、輸血管理室は二十四時間管理を行っています。

日常の診療ではすべての疾患において治療成績や予後の向上、患者さまの身体的・精神的苦痛の軽減のためには早期診断が重要であり、そのためには丁寧な問診と診

察は言うまでもなく、臨床検査は不可欠です。近年、外来部門の初期診療においては以前から診療



待ち時間にその日の診療に必要な検査を行い、その日のデータで治療方針を決定することが行われています。この診察前検査

（リアルタイム検査）により確定診断を含めた早期診断、適切な薬剤投与による早期治療がなされますので診察前検査の需要はさらに多くなると思われます。入院患者さまにおいても迅速な臨床検査の情報により早期診断、早期治療が可能となり、その結果、入院期間を短縮させることにつながります。また、外来部門では一回の受診で検査結果がわかり、それに基づいた納得のいく診療を受けたいという患者さまのお気持ちがあると思います。すべての臨床検査を院内検査部で行うことはできず、結果の報告に時間を要する検査もあります。また、外来、入院にかかわらず、診療の質を高めるために院内検査部は益々部門としてのニーズが高まっていると考えています。

本院は地域の中核医療機関として「高度先進医療」、「第三次救急」、「病診連携」を推進し、地域から信頼される病院を目指して幅広い救急医療を担っています。急性期型総合病院としての機能を高め、さらに地域からの信頼を得ていくために長年にわたって蓄積された技術と知識を発揮し、最新の医療を支える精度管理と迅速な結果報告に心がけ、病院内外から信頼される検査部であり続けられるようにスタッフ一同頑張っています。



部長 漆谷 義徳
医師 大沼 秀行

六月一日より 外来看護相談コーナーを開設

外来患者さまやご家族の方が、不安や悩みを相談できる場所として開設しました。どうぞお気軽にご相談下さい。

場所 本館一階 診療案内力ウンター

日時 平日 13時30分～16時00分（予約不要）

相談員 外来看護師

必要に応じて認定看護師、保健師、助産師、ケースワーカー、薬剤師、栄養士など

相談内容

- 生活に関する（療養生活全般、移動、衣類の着脱方法、褥瘡処置など）
- 症状に関すること
- 治療、検査、処置に関すること
- 食事に関すること
- その他

相談は無料です。

相談内容や個人のプライバシーを厳守致します。

5～6月医師紹介

小児科
高橋 知男
お子様が、不安な診察を受けられるよう、五月から赴任した、小児科の高橋と申します。

麻酔科
枝廣 久美子
六月一日に麻酔科へ赴任致しました枝廣久美子と申します。島根県立中央病院で初期臨床研修をした後、島根大学附属病院に在籍してまいりました。患者様が安全に手術を受けられるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

予防接種 『水痘、ムンプスワクチンのすすめ』

小児科部長 瀬 島 斉

人々の健康に害を与える様々な伝染病（はやり病）予防に対し、ワクチンが果たしてきた役割の大きさは万人が認めるところでです。伊達正宗や徳川三代将軍家光も罹患した痘そう（天然痘）は、有名なジェンナーの種痘に始まるワクチンの開発普及により、絶滅宣言が出されました。ポリオや麻疹、風疹などもワクチン接種が流行予防に威力を発揮している病気です。

さて、同じく予防できる病気の中に、水痘（水ぼうそう）やムンプス（おたふく風邪）があるのをご存じでしょうか？「ワクチンがあることは知っているけれど、子どもの時にすれば軽くて済むし、わざわざ高いお金を払ってまで受ける必要はない」と思っている方も少なくありません。

確かに、この二つの病気に罹っても、多くの子供たちは一週間程度で元気に治ります。しかし、

水痘では急性小脳失調や血管炎で脳梗塞を来したり、罹患後、脊髄神経節の一部にウイルスが生き残るので、带状疱疹（俗称、胸巻き）の原因になります。高齢者の带状疱疹は、疼痛治療が必要な程の痛みを伴い、苦痛は大変なものです。医療費増加にも繋がります。ムンプスでは二〜一〇%が無菌性髄膜炎、思春期以降の男子二五%が睾丸炎（大事なところがパンパンに張れて、悶絶しそうな痛みのために入院、男性不妊のリスク）を来すといわれ、難聴の合併も大問題です。

この二つのワクチンは、勧奨接種と異なり、受ける人が自費で受ける任意接種のため値段が高い（七〇〇〇〜九〇〇〇円程度）のは事実です。そのためか、接種率は二〇%程度といわれています。確かに、乳幼児医療費が使える時期に罹れば、治療費の個人負担はワクチンより安くなるかも知れませんが、前述の合併症や後遺症による社会的損失、子供が罹患中、仕事を休んで自宅でケアする保護者の負担など、間接的影響も含めた費用で考えると、ワクチン接種をした方が得であるという結論が出されています。米国、その他諸外国で、防げるものは積極的に防ごうと、水痘、ムンプスも公的援助でワクチンを実施しているのはそのためです。

ワクチン行政に関して、残念ながら名だたる後進国である日本では、国がしり込みをしているため、そこまで至っていません。私自身、ムンプスで難聴になった患児のお母さんが、「知っていたら予防接種をしたのに」と嘆かされたシーンを忘れることが出来ません。もし、子供さんに限らず家族内に水痘やムンプスに罹ったことがない人がいらっしゃるなら、一度、ワクチン接種を考えてみてはどうでしょうか。



認定看護師の紹介

感染管理認定看護師

角 紀子

私たちの体には、細菌やウイルスなどの病原体が体内に侵入してくるのを防いだり侵入してきても増殖を抑えるしくみがあり、感染を防ぐことができます。

しかし、医療施設には病気や治療によって、その感染を防ぐ力が低下した方が多くいらっしゃいます。

感染管理認定看護師は、感染を防ぐ力が低下し感染を受けやすい人はもちろん、病院におけるすべての人（ご家族、職員など病院に関わる人々）を感染から守るための知識と技術を習得し、感染管理に組織的・効果的に取り組むことができる看護師です。当院には二名の感染管理認定看護師がおり、病院の感染

対策の中心組織である院内感染対策委員会のメンバーとして活動しています。その活動の一部をご紹介します。一つは感染対策院内ラウンドを毎週木曜日午前中に、医師、検査技師などと一緒に行っています。ラウンドでは、現場で感染対策の基本となる手洗いや手指消毒が正しい方法で適切な場面で行われているか、病室や処置室などが整理整頓され清潔な状態であるかなど、毎週テーマを決めて調査しています。改善が必要であればその場で指導し、病院全体で改善が必要と思われることがあれば委員会で検討しています。

また、感染防止に関する教育を行っています。このように、感染の発生を少しでも減らし、もし感染が起こった場合には拡がらないようにするための活動を実践していきますので、今後もしよろしく申し上げます。



☆料理の世界☆
「☆料理の世界☆」
穴道湖七珍「スズキ」

栄養課 奥野 将徳



スズキのカルパッチョ

スズキを紹介し
ます。スズキは成
長とともに名前の
変わる出世魚で、
三〇cm以下をセイ
ゴ、三〇〜六〇cm
をフッコ、六〇cm
以上をスズキと呼
びます。くせがな
く、淡白な白身の
魚ですが、腹側は
背側に比べて多少
くせがあります。主に塩
焼き、洗いなどで食へま
すが、いろいろな料理に
向いています。ま
た、「スズキの奉
書焼き」は秋から
冬の産卵時期の腹
太スズキを使った
穴道湖の郷土料理
として有名です。
昔、漁師が灰の中
で蒸し焼きにして
食べていたものを
見た、時の藩主松
平不昧公が食べて

水の都松江のシンボル
穴道湖。海水と淡水の混
じるこの湖は四季折々の
味覚が豊富です。特にス
ズキ、モロゲエビ、ウナ
ギ、アマサギ、シジミ、
コイ、シラウオの七品、
この七品を「穴道湖七珍」
と呼びます。これらの頭
の一字を組み合わせて「ス・
モ・ウ・ア・シ・コ・シ」
と語呂合わせで覚えてく
ださい。
今回は六〜九月が旬で、
おめでたい席で重宝され

みたいと望んだところ、
灰が付いては失礼と、
奉書紙に包んで焼いたの
が始まりと言われているま
す。奉書紙のほんのり焦
げた香りが淡白な魚の味
によくマッチした料理で
す。出雲を象徴する魚と
して古くから食べられて
いるスズキ、美容と健康
をサポートし、皮には疲
労回復効果も期待できる
ので、この時期おすすめ
の食材です。

スズキのトマトソース煮



外来糖尿病教室紹介

『えっ? こんなに食べても太らないの? ~おな
か満足 低カロリーの食事会~』『減塩食っておいし
いね。食物繊維も忘れずに。~夏を乗り切る元気なメ
ニュー~』今年の外来教室の食事会のテーマです。

みなさんととても楽しみにしていただいているようで、
教室に毎回参加されている方もおられ、常に会場はい
っぱい、熱気であふれています。

当院の教室に参加されて、何か一つでも収穫して帰
っていただけるようこれからも更に充実した教室運営
を心がけていきたいと思います。外来通院中の患者
様だけでなく広く一般の方にも参加していただくこと
ができます。みなさん是非一度参加してみてください!

※毎回予約制 申込・問い合わせ先 担当保健師 吉岡 TEL(0852)24-2111
※糖尿病手帳をお持ちの方はご持参下さい。(内線2415)



▲日本糖尿病協会島根県支部会員の皆様で作成された「糖尿病いろはカルタ」

健康医学講座紹介

当院では、専門医より最新の医学を皆様へお伝え
することをモットーに、毎年「健康医学講座」を開催し
ています。

毎回好評でリピーターも多い医学講座ですが、今年
度も11月までの7回毎月様々なテーマで当院の各科
専門医師による講演を予定しております。外来でも馴
染みのある医師の講演ですので、普段疑問に思われ
ていることも質問しやすいと思えます。どうぞ気軽
にお越しください。



申込み先:松江赤十字病院 医療社会事業部
TEL:0852-32-6901